2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名	ムトー精工株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7927	URL	https://www.muto.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	田中　肇
問合せ先責任者	（役職名） 取締役財務担当	（氏名）	金子　貞夫　(TEL) 058(371)1100
半期報告書提出予定日	2026年11月12日	配当支払開始予定日	2026年12月15日

決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	16,538	11.4	956	△26.4	920	△39.6	1,786	65.1
2026年３月期中間期	14,841	4.4	1,299	14.3	1,525	21.2	1,082	25.3

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,617百万円（　37.1%）　2026年３月期中間期　1,179百万円（　148.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	257.16	―
2026年３月期中間期	155.17	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	32,795	22,931	66.9
2026年３月期	32,563	21,929	64.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　21,945百万円　2026年３月期　20,951百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	30.00	―	85.00	115.00
2027年３月期	―	58.00			
2027年３月期(予想)			―	59.00	117.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	1.0	1,800	△22.6	1,800	△35.0	2,500	25.6	359.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　―　社（社名）　　、除外　１　社（社名）大英エレクトロニクス株式会社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料11ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	7,739,548株	2026年３月期	7,739,548株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	802,617株	2026年３月期	793,562株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	6,945,459株	2026年３月期中間期	6,973,211株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 11
（セグメント情報） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における国内外の経済は、日本においては雇用環境の改善や省力化推進による設備投資の増加などにより、経済活動は底堅く推移したものの、人手不足の常態化、金利・為替の変動、中東情勢に伴う物価上昇やサプライチェーンの混乱など、経営環境は不安定かつ不透明な状況が続いております。海外におきましては、AI関連投資等を背景に、米国を中心に緩やかな成長を維持したものの、中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりなど不安定かつ不透明な状況が継続いたしました。

当社を取り巻く業界におきましては、自動車、家電分野ともに需要は堅調に推移し、好調な受注が続きましたが、半導体不足による生産の混乱が生じたほか、得意先の中国回避や中国市場での需要悪化を背景に、中国現地法人の業況が低調に推移いたしました。また、中東情勢の悪化に伴い高騰が続いている原材料価格や人件費等の経費の得意先への価格転嫁が遅れており、収益を圧迫いたしました。

一方、2026年６月にプリント基板事業を運営する大英エレクトロニクス株式会社の株式譲渡を決議し、翌月７月に株式譲渡が完了したことに伴い、特別利益として関係会社株式売却益14億４千５百万円を計上いたしました。

その結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高は165億３千８百万円と前年同期と比べ16億９千６百万円(11.4%)の増収、営業利益は９億５千６百万円と前年同期と比べ３億４千３百万円(26.4%)の減益、経常利益は９億２千万円と前年同期と比べ６億４百万円(39.6%)の減益、親会社株主に帰属する中間純利益は17億８千６百万円と前年同期と比べ７億４百万円(65.1%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、主にプリンター部品や医療機器関連の部品における受注増加に伴い、プラスチック成形事業全体の売上高は増加いたしました。しかしながら、プラスチック原材料の値上げや積極的な設備投資などにより減益に転じました。その結果、当中間連結会計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて163億２千２百万円と前年同期と比べ18億５千５百万円(12.8%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は８億５千９百万円と前年同期と比べ２億４千８百万円(22.4%)の減益となりました。

② プリント基板事業

当セグメントにおきましては、経営資源をプラスチック成形事業に集中させるため、プリント基板事業を運営する連結子会社であった大英エレクトロニクス株式会社の全株式を譲渡することで撤退いたしました。なお、大英エレクトロニクス株式会社は、株式譲渡に伴い当中間連結会計期間から連結除外となっております。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ３億５千３百万円増加し、211億２千８百万円となりました。受取手形及び売掛金が５億５千６百万円、商品及び製品が２億４千６百万円、原材料及び貯蔵品が３億３千９百万円それぞれ増加し、現金及び預金が７億２千７百万円減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ１億２千１百万円減少し、116億６千６百万円となりました。有形固定資産が１億３千５百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ２億３千１百万円増加し、327億９千５百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ５億２千４百万円減少し、70億７百万円となりました。短期借入金が11億３千７百万円減少し、支払手形及び買掛金が６億４千８百万円増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ２億４千６百万円減少し、28億５千６百万円となりました。長期借入金が２億３千４百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ７億７千１百万円減少し、98億６千３百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億２百万円増加し、229億３千１百万円となりました。利益剰余金が11億９千３百万円増加したことなどが主な要因です。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、75億６千７百万円となり、前年同期と比べ16億４千１百万円(17.8%)減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前中間純利益23億６千３百万円、非資金費用である減価償却費６億３千万円、売上債権の増加額５億３千５百万円、棚卸資産の増加額６億２千３百万円、仕入債務の増加額７億４百万円、未払金の減少額４億９千６百万円及び関係会社株式売却益14億４千５百万円などにより、営業活動全体として４億６千１百万円の収入となり、前年同期と比べ収入が11億７千６百万円(71.8%)の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、定期預金の預入による支出20億９千９百万円、定期預金の払戻による収入13億５千２百万円、有形固定資産の取得による支出６億４千３百万円、無形固定資産の取得による支出２億９千７百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入19億１千８百万円などにより、投資活動全体として２億６百万円の収入(前年同期は１億７百万円の支出)となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純減額11億３千万円、長期借入金の返済による支出５億９百万円、配当金の支払額５億８千９百万円などにより、財務活動全体として21億３千３百万円の支出となり、前年同期と比べ支出が15億９千万円(292.9%)の増加となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2026年６月17日に公表いたしました2027年３月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(2026年11月12日)公表の「2027年３月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当期の見通しにつきましては、国内外で景気の回復が維持されることが期待されるものの、中東情勢の緊迫化に伴い、エネルギー価格の高騰、石油精製品の品薄等サプライチェーンの混乱などが想定され、不確実性の高い経営環境が続くことが見込まれます。また、今後の為替相場の動向は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、世界情勢による様々なリスクに対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,873,709	10,145,899
受取手形及び売掛金	4,608,552	5,165,292
電子記録債権	217,193	38,805
商品及び製品	923,580	1,169,684
仕掛品	1,382,836	1,375,364
原材料及び貯蔵品	2,120,510	2,459,960
未収入金	117,103	57,222
その他	532,513	716,547
貸倒引当金	△945	－
流動資産合計	20,775,055	21,128,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,502,322	4,401,370
機械装置及び運搬具（純額）	2,917,338	2,999,418
土地	2,089,263	1,859,688
リース資産（純額）	273,027	252,231
建設仮勘定	198,715	317,619
その他（純額）	547,887	562,594
有形固定資産合計	10,528,554	10,392,922
無形固定資産	337,801	499,835
投資その他の資産		
投資有価証券	571,739	523,442
繰延税金資産	138,719	91,983
その他	211,585	158,311
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	921,919	773,612
固定資産合計	11,788,275	11,666,369
資産合計	32,563,331	32,795,147

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,458,029	3,106,690
短期借入金	2,248,600	1,111,050
1年内返済予定の長期借入金	999,184	1,024,184
未払法人税等	291,026	603,564
賞与引当金	254,794	334,130
関係会社整理損失引当金	12,732	7,695
その他	1,267,202	819,834
流動負債合計	7,531,570	7,007,149
固定負債		
長期借入金	1,859,312	1,624,720
長期未払金	120,185	120,185
繰延税金負債	418,760	446,490
役員退職慰労引当金	29,928	－
退職給付に係る負債	400,319	308,376
資産除去債務	－	101,898
その他	274,194	254,336
固定負債合計	3,102,700	2,856,006
負債合計	10,634,270	9,863,155
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,255,557	2,259,392
利益剰余金	13,163,529	14,356,921
自己株式	△718,764	△744,266
株主資本合計	16,889,283	18,061,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378,410	315,795
為替換算調整勘定	3,683,784	3,568,903
その他の包括利益累計額合計	4,062,195	3,884,699
非支配株主持分	977,581	986,285
純資産合計	21,929,060	22,931,991
負債純資産合計	32,563,331	32,795,147

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	14,841,295	16,538,127
売上原価	11,738,343	13,762,995
売上総利益	3,102,951	2,775,131
販売費及び一般管理費	1,802,964	1,818,161
営業利益	1,299,987	956,970
営業外収益		
受取利息	80,560	46,814
受取配当金	6,402	9,544
為替差益	158,025	－
助成金収入	3,981	－
その他	11,235	17,376
営業外収益合計	260,204	73,734
営業外費用		
支払利息	32,731	29,840
為替差損	－	79,940
その他	1,990	158
営業外費用合計	34,721	109,939
経常利益	1,525,470	920,765
特別利益		
固定資産売却益	1,788	6,366
関係会社株式売却益	－	1,445,971
特別利益合計	1,788	1,452,337
特別損失		
固定資産売却損	2,891	4,775
固定資産除却損	0	4,884
貸倒損失	－	41
関係会社整理損失引当金繰入額	－	184
特別損失合計	2,891	9,885
税金等調整前中間純利益	1,524,367	2,363,217
法人税等	388,783	583,438
中間純利益	1,135,583	1,779,778
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	53,558	△6,307
親会社株主に帰属する中間純利益	1,082,025	1,786,085

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,135,583	1,779,778
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,414	△62,615
為替換算調整勘定	△32,009	△99,857
その他の包括利益合計	44,404	△162,473
中間包括利益	1,179,988	1,617,305
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,112,238	1,608,589
非支配株主に係る中間包括利益	67,749	8,716

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,524,367	2,363,217
減価償却費	646,978	630,473
有形固定資産除却損	0	4,884
貸倒引当金の増減額（△は減少）	320	△41
賞与引当金の増減額（△は減少）	47,614	94,858
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	1,650	825
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	8,704	13,693
受取利息及び受取配当金	△86,962	△56,358
支払利息	32,731	29,840
有形固定資産売却損益（△は益）	1,103	△1,590
売上債権の増減額（△は増加）	△1,057,552	△535,274
棚卸資産の増減額（△は増加）	△280,374	△623,636
仕入債務の増減額（△は減少）	947,651	704,047
未払金の増減額（△は減少）	△236,705	△496,419
未払費用の増減額（△は減少）	77,469	10,327
未払消費税等の増減額（△は減少）	107,056	△32,967
関係会社整理損失引当金の増減額（△は減少）	△25,241	△5,037
関係会社株式売却損益（△は益）	－	△1,445,971
その他	162,733	9
小計	1,871,543	654,879
利息及び配当金の受取額	86,882	56,635
利息の支払額	△33,592	△29,080
法人税等の支払額	△290,216	△285,663
法人税等の還付額	3,277	64,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,637,894	461,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,583,459	△2,099,355
定期預金の払戻による収入	2,046,077	1,352,855
有形固定資産の取得による支出	△559,263	△643,209
有形固定資産の売却による収入	6,316	8,928
無形固定資産の取得による支出	△12,595	△297,507
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	－	1,918,875
その他	△4,697	△33,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,623	206,904
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	450,000	△1,130,600
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△504,998	△509,592
自己株式の取得による支出	△129,940	△28,219
配当金の支払額	△525,368	△589,129
非支配株主への配当金の支払額	△121,500	△143,610
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	－	△1,463
その他	△11,260	△30,869
財務活動によるキャッシュ・フロー	△543,067	△2,133,483

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62,629	7,145
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	924,574	△1,458,290
現金及び現金同等物の期首残高	8,284,938	9,025,817
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,209,512	7,567,527

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（セグメント情報）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	プリント基板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,462,610	378,685	14,841,295	－	14,841,295
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,093	－	4,093	△4,093	－
計	14,466,703	378,685	14,845,388	△4,093	14,841,295
セグメント利益	1,108,481	191,505	1,299,987	－	1,299,987

（注）セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	プリント基板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,320,760	217,366	16,538,127	－	16,538,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,433	－	1,433	△1,433	－
計	16,322,193	217,366	16,539,560	△1,433	16,538,127
セグメント利益	859,632	97,337	956,970	－	956,970

（注）1.セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2.「プリント基板事業」に分類しておりました大英エレクトロニクス株式会社については、当中間連結会計期間において全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。売上高、セグメント利益の金額については、連結除外日までの実績を含めております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。